

講話内容の一例紹介

- (1) 講話内容については、令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことから、全学年に受講してもらうため「1・2年生向け」と卒業後の生活に向けた「3年生向け」に分けて御紹介します。
- (2) 講話内容は、講話時間に応じた調整が可能です。派遣する講師（金融広報アドバイザーなど）の確定後、講師と担当の先生との間で個別の項目について相談のうえ、講話内容を決めていただくことができます。

● 1・2年生向け

	講 話 内 容
1. お金の管理	<ul style="list-style-type: none"> ●お金の種類と支払手段 ●進学にかかる費用と一人暮らしの生活費 ●収入と支出のバランス（収支の黒字化、貯蓄） ●奨学金、ローンの支払い
2. 生活設計・資産形成	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方（社会保障と税金） ●職業選択と収入の違い ●生活のリスクへの備え方 ●将来のイベントとライフプラン ●資産運用の基礎知識
3. 金融と経済	<ul style="list-style-type: none"> ●金融と経済の基礎知識 ●金融と金利 ●日本の財政を考える
4. 契約と消費生活	<ul style="list-style-type: none"> ●成年年齢引き下げと契約（契約の基礎知識と契約トラブル回避の知識） ●契約とは何か（契約の成立と効力、契約の無効と意思表示の取消し、契約の解除） ●最近の消費者トラブル事例と対処方法 ●消費者トラブルの被害にあわないためには

● 3年生向け

	講 話 内 容
1. 新生活に必要な金融の基礎的な感覚・知識	<ul style="list-style-type: none"> ●家計管理、ライフプラン ●一人暮らしの生活費、税金、貯蓄 ●資産運用の基礎知識 ●社会保障制度の理解（公的医療保険と年金） ●クレジットカード利用の注意点 ●生活のリスクへの備え方 ●キャッシュフロー表の作成（生活費、税金、奨学金、ローンの支払、貯蓄） ●契約の基礎知識 ●消費者トラブルに関する基礎知識
2. 契約と消費者トラブル	<ul style="list-style-type: none"> ●クレジットカードの機能と利用時の注意点（キャッシング、リボ払い） ●悪質商法について（種類、手口、対処方法）

● おすすめのプログラム例

金融教育は、学年の順を追って3年間実施することでより深い理解に繋がることから、各学年で実施するプログラムの事例をご紹介します。

	講 話 内 容
1年生	家計管理、金融リテラシーの基礎
2年生	成年年齢引き下げ、奨学金、社会保障
3年生	1・2年生で学んだことの復習、貯蓄や投資の基礎知識